

---

◎町長行政報告

○議長（土屋清武君） 日程第4、町長の行政報告を行います。

町長から報告の申し出がありますので、これを許します。

（町長 長嶋精一君 登壇）

○町長（長嶋精一君） 平成30年松崎町議会第1回定例会の開会にあたり、謹んで行政報告を申し上げます。

最初に平成30年度予算について少し述べさせていただきます。

私が松崎町長に就任して今日が83日目であります。あっという間に本日を迎えましたが、この83日の間に予算編成をするという非常にタイトなスケジュールでした。

就任した時点で、ある程度の骨子が決まりつつある状況であったため編成には苦勞いたしました。自分が皆様に公約したもののなかで、できることについては計上したつもりであります。

詳細についてはこの後の施政方針や議案審議の中でお話しをさせていただきますが、同時に職員の意識改革にも取り組んでおり、お昼当番の在り方や、決裁、出張、接遇など細かい点について自分の意見を述べ、改善に取り組んでまいりました。

まだまだ結果は出ておりませんが、それらについても全力で取り組んでまいりますのでご意見等がありましたらお知らせいただきたいと思います。

さて、今回の行政報告には毎回報告している町営施設の入館状況と公営企業の経営状況に加え、調整を重ねてまいりました第5次総合計画の後期計画についてご報告をいたします。

詳細については担当から説明いたしますが、5月になりましたならば地区懇談会を開催し、各地域の皆様からいただいたご意見の取り込みもしてまいります。

また、焼却場の共同設置についても下田市の方で離脱の動きがありますし、西伊豆町にある斎場についても老朽化が進んでいるなど、外的要因が刻々と変化しており、町の財政計画にも大きく影響することが想定されます。

そのようなことを考慮すると、この第5次後期総合計画についても、期間や内容に固執せず、随時調整を行いますので、ご理解くださいますようお願いいたしまして行政報告のあいさつとさせていただきます。

それでは、担当から説明いたします。

○企画観光課長（高橋良延君） それでは、企画観光課から3件の行政報告をさせていただきます。

はじめに、町営観光施設の入館状況について資料ナンバー1によりご報告をさせていただきます。

まず、1ページをお願いいたします。

はじめに、「伊豆まつぎ荘」でございます。右側の1月までの累計の比較でご説明をいたします。

宿泊利用人員は、240人減の1万8817人となりましたが、入浴、休憩利用人員を加えました利用者数は343人増の2万8763人となりました。

収益につきましては、前年度より379万1000円増加いたしまして、2億5845万6000円となりました。公債費、減価償却費を按分して加えた事業費用につきましては前年度より546万9000円増加いたしまして2億5778万9000円となり、利益につきましては、66万7000円となり前年度より167万8000円のマイナスとなっております。

続きまして、2ページをお願いいたします。長八美術館でございます。長八美術館は1332人減の2万1150人。収支差額につきましては、マイナスの868万4000円、前年度より17万6000円ほどのマイナスという状況でございます。

続いて、重文岩科学校です。重文岩科学校は810人減の1万2539人。収支差額はマイナスの663万3000円で前年度より7万6000円のマイナスとなっている状況でございます。

続きまして、3ページをご覧ください。明治商家中瀬邸でございます。こちらは、98人減の1万162人でございます。収支差額につきましてはマイナス617万3000円。前年度より186万6000円ほどのマイナスという状況でございます。

続いて、民芸館でございます。こちらは、406人減の5392人。収支差額につきましては、マイナスの219万4000円、こちらは前年度に比べ収支差額としては144万3000円の改善となっている状況でございます。

続いて、4ページをお願いいたします。道の駅花の三聖苑でございます。こちらにつきましては、利用人員につきましては、207人増の3万9968人となっておりますが、収支差額につきましては、マイナスの801万1000円となっております、前年度より240万5000円のマイナスという状況でございます。

1月末までの累計では、伊豆まつぎ荘を除く全ての施設で収支差額はマイナスということで非常に厳しい状況が続いているところでございます。

なお、各施設においては営業活動あるいは企画プランの販売、特別展、企画展の開催、体験事業の実施など誘客活動を行っております。

また、伊豆まつぎ荘では、ホームページ等の改善を行い、情報発信に取り組んでいるところでございます。

今後も観光誘客のため観光協会等と連携して誘客に取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以上、町営観光施設の入館状況についての報告とさせていただきます。

続いて、第5次総合計画後期基本計画について報告をいたします。資料ナンバー2をお願いいたします。

第5次総合計画後期基本計画につきましては、先月2月23日開催の議会全員協議会において本資料に基づきご説明をさせていただいておりますので、概要のみのご報告とさせていただきます。

はじめに、後期基本計画策定経過について説明をいたします。総合計画後期基本計画につきましては、昨年6月、総合計画委員会に諮問をいたしました。その後、前期計画の事業評価、町内団体へのヒアリング、役場課内のヒアリング等を行いましたあと、町民の皆様にご意見募集を行いまして、このほど2月14日の総合計画委員会の答申を得て、後期基本計画として策定をしたところでございます。

なお、当初予定していましたが、5月に開催予定の町政懇談会にて説明をいたしまして、そこでいただいた意見を毎年度見直す実施計画に反映をさせていただきたいと考えているところでございます。

それでは、概要版の3ページのところをお願いいたします。第5次総合計画につきましては、平成24年度に策定されました。平成25年度から10年間に渡る松崎町のまちづくりの今後の方向性を定める計画でございます。

総合計画は3つの構成から成り立っております。

まず、1つに、将来像を掲げ政策を方向づける基本構想。2つ目に、政策を達成するための施策を定める基本計画。最後、3つ目に、事業を展開する実施計画ということで、この3つの構成から成り立っております。

この内、基本計画につきましては、この10年間で前期と後期の5年ごとに分けて策定することといたしております。今回、平成30年度から34年度までの5年間の後期基本計画を策定したものでございます。

4ページをお願いいたします。4ページのところからは、総合計画では町の目指す将来像を定め、それを実現していくために6つの分野を定めております。それを具体化したものがこちら

らの基本計画ということでございます。

なお、本資料は概要版のため、主な取り組みを記載しましたので、そちらの方をご承知おきいただきたいと思っております。

なお、この概要版ともう一つ計画書という冊子を作成いたしました。その計画書においては、全74ページに渡り6つの分野別項目ごとに5年先の目指す方向、現状と課題、主な取り組み、目標指標、こういったものを掲げまして基本計画書を冊子として作成をいたしております。そちらはまたご覧いただきたいと思っております。

なお、この後期基本計画書においては、町民の皆様にはわかりやすい計画書とすることに努めました。具体的な重点取り組み施策を挙げさせていただきました。さらに、今後町民満足度の高いまちづくりを進めていくために事業の評価と検証を行うPDCAを明確に計画書に謳いました。毎年度町民の皆さんに公表をしてみたいと考えております。詳しい事業の内容は省略をさせていただきます。

以上、第5次総合計画後期基本計画の報告といたします。

続いて、松崎町第5次総合計画（実施計画）ローリングについて資料ナンバー3によりご報告をさせていただきます。

実施計画につきましては、前月2月23日開催の議会全員協議会において本資料に基づきご説明をさせていただいておりますので、個別の事業の説明は省略させていただきます。概要のみのご報告とさせていただきます。

第5次総合計画は、先ほど申し上げました平成25年度から10年間に渡る計画でございます。この本実施計画につきましては、平成30年度から32年度までの3か年の実施計画を見直した表になるものです。その見直した結果、新規事業については2件、事業費変更増が29件、事業費の変更減が35件、事業費の変更なしが11件の合計77件の事業の見直しを行ったところでございます。

最終ページ、5ページのところに総事業費がございますが、3か年の総事業費につきましては、41億3627万3000円、うち一般会計分37億857万3000円、水道・温泉の特別会計分4億2770万円となっております。個別の事業につきましては、1ページから5ページにそれぞれ記載してございますので、こちらの説明は省略させていただきたいと思っております。ご覧いただければと思います。

以上、企画観光課から3件の報告をさせていただきました。

○生活環境課長（馬場順三君） それでは、生活環境課から公営企業会計平成30年1月末経営

状況について報告をさせていただきます。資料ナンバー4の方をお願いいたします。

はじめに水道事業会計でございます。本年度1月末収益につきましては、営業収益・営業外収益を合わせまして、①になりますが、1億1170万7000円、前年対比126万7000円、1.1パーセントの減となっております。理由といたしましては、1月末現在の有収水量につきまして72万9143m<sup>3</sup>で、一般用と営業用の減少により収益減となっております。

また、予定収益を入れました事業収益の合計は④になりますが、1億2190万3000円、前年対比124万4000円、1パーセントの減となっております。

一方、費用の方でございますが、営業費用に予定費用を加えました合計は⑦になりますが、1億933万8000円、前年対比111万1000円、1パーセントの減となっております。

この結果、差引純利益につきましては、1256万5000円、前年対比13万3000円、1パーセントの減となりました。

続きまして、温泉事業会計でございます。はじめに、収益の方でございますが、営業収益・営業外収益を合わせまして、①になりますが、4959万8000円、前年対比53万5000円、1.1パーセントの減となっております。前年同期と比べまして休止が増えたことなどが主な収益減の理由となっております。

予定収益を加えました事業収益の合計は④になりますが、5155万9000円、前年対比50万1000円、1パーセントの減となっております。

一方、費用の方でございますが、営業費用に予定費用を加え合計は⑦になりますが、4198万2000円、前年対比74万3000円、1.8パーセントの増となっております。

その結果、差引純利益につきましては、957万7000円、前年対比124万4000円、11.5パーセントの減となりました。

水道・温泉両会計とも前年並みの利益を確保しておりますけれども、水道事業におきましては、使用水量の減少が続いているところでございます。

また、温泉事業につきましては、引き続きまして新規加入の促進を図っていきたいと考えております。

以上、1月末公営企業会計の状況についての報告とさせていただきます。

○議長（土屋清武君） 以上で町長の行政報告を終わります。

---